

学友会執行部は、「不当なデマ宣伝を告発する」と題した声明を
発表し、次のような学友会要求項目なるものを明らかにした。

①今回の暴力事件をひき起こした暴力集団（中核、ブンド、プ
ロレタリア軍団、革マル、社学同盟、民学同、フロント等）の学
友からの一掃、②事件の根本人、新聞社の責任追及、③幹事会総退
陣、④暴力学生の即刻自主退学、⑤今日学生連長の責任追及」

④学生会運動部事件

代々木一五者共闘会議は、12月16日、事実を歪曲した、しかも、
完全にひらきなおった反暴力集団キャンペーンを大々的に展開する
一、新聞社や全共闘準備会等の情報センターとなっていた学生会
館を、午前9時10分、完全武装して襲撃。当日の抗議ビラを奪うと
ともに印刷機械等を破壊した。

【資料】⑧

全学友に緊急に訴える
二月一六日一部学術本部ビラ

本日前、二度にわたって一部学術BOXへの襲撃があった。一度
は彼ら30名余りの集団は本部BOX前で、BOXのひらくのをま
っていた数名の学友をおそい、その持っていた物品を奪い去った。
またもう一度は、本部BOX内になだれこみ、中にいた学友に暴
行を働いて、BOXを荒した。
この事件は、新聞社不法占拠に端を発した一部学友会、日共民青
の暴行な運動破壊の陰謀の発展であり、彼らに反対する者の活動の
暴力的封殺のめくろみである。我々学術本部は決して彼らを許さな
い。全ての学友は我々とともに立ち上がることを要請する。
(全文)

大学当局と結託した学友会の不当介入を許すな

歴史学研究会 現代史会
明治維新史会 古代史会
中世史会

今回の問題は16日の学友会による学術本部に対する二度の襲撃に
よって新たな局面を迎えた。即ち、単に新聞社の問題だけでなく、
学友会一派の目的が自らの偏狭なセクシ・ナリズムによる全学支配
であり、自らに従順しない者に対する脅迫以外の何物でもない事を
さらけ出した。教職組の「全学集会」デッチ上げに見られるように、
本質的解明を意図的に隠蔽し、さらに本質は歪曲された。即ち学友
会側の暴力を語ることにし、14日の実行行のみの意図的に歪曲
したキャンペーンをはるところに犯罪性があるのである。
(要旨)

民青一五者共闘会議のこうした一連の立命館民主主義と総称され
る諸組織を駆使した事象の権力的収拾工作は、当然にも事象を「収
拾」させえなかつたばかりか、それを全学的に、しかも深化させる
ことになった。

自然発生的な、すぐれて感情的なものであったとはいえ、この時
期の学生の批判は、立命館民主主義への根底的な問いを、明確に内
在させていた。

【資料】⑨

無口なノンポリに訣別し、
学友会運動行動に決起せよ

ノンポリ新聞編集局

立命館大学における、いわゆるノンポリと呼ばれる圧倒的諸君、
ノンポリ新聞の責任の立場から現在学園で起っている重大な事態に
対し、冷静に事実を見、本質を見抜き、意志表明の為の行動に立ち
上ることを要請する。

……以上のような今回の事件の原因は総て学友会にあり、みんな
学友会が悪い。ここにおいて末川総長を始めとする教職員は、「学
生諸君は力によらず、冷静に事態に対処し、新しい自治をつくり出
そう云々」と仲裁なるものをかててた。しかしここで感情的に暴
力反対を唱えるならば、それは結果的には学友会の大衆運動破壊の
暴力を許すことになる。つまり数十名のゲバルト部隊の援助のもと
に学園新聞をのりとり、襲まれる新聞発行を目的とした反学的大
衆行動を黙認することになる。暴力という手段は決して中立的な立
場では存在しない。選挙という暴力、多数決という暴力、そして今
回は立命館民主主義という暴力装置をもって、一般学生を欺き、ノ
ンポリの意志を屈服させた学友会の一連の行動は、暴力以外の何
ものでもなく、明らかに非といえるだろう。

我々は無口なノンポリに今、ハッキリと訣別し、我々の意志をは
っきりと表明する時がきた。仲我彼というような真実を隠蔽し、目
らの立場を隠蔽にする無責任な態度を許すな。
ノンポリ諸君、我々の無口が学友会に暴力を許させ、我々がノン
ポリに安住した時、彼らは随で学生支配の武器を研いでいた事実を
は。きりと認識せねばならない。
(一部略)

涙れ去った「立命館民主主義」最後の追悼に決起せよ

法学部2丁クラス決議

(反対0保留3賛成34)

実にこの三日間という短時間で20余年に渡り作られた「立命館民
主主義」は音を立てて一挙に潰れ去った。それは一三日の末川総長
の発言、中村学生部長の対応、教職組の対応にはっきりとみられる
如く、「暴力はいけない。同じ学生ではないか、話し合え」と問題
を単なる現象面では把握しえず、しかも最も犯罪的な事は、それ
を根拠としつつビラを張り、結果的には現在、立命に居る日共
民青の側に立ってしまったという事だ。「学生の自治に干渉しな
い」という言葉は一体それでは、どこから吐けるのか？我々は今時
代遅れの立命館民主主義にとって代わるべき新たな学園を真剣に創
造しなくてはならない。
(一部略)

全学友よ目を覚ませ

民主立命は砂漠のシンキロウだ

文芸学術六パート

金融研究会・証券研究会・貿易研究会
民科経済研究会・会計学研究会

学友諸君、我々は今回の新聞社問題に關して、同じくサークルに
於て活動している者の立場から、学友会に対して、新聞抗議の意を
表明する。

学友諸君、我々は今回の一連の事件を究明、解決していく過程に
おいては新聞編集の権限たる新聞社「入社問題」の真相、本質を先
ず、見きわめることが先決問題であると思う。そして、それは直
接的には、すでに述べたように、サークル自治破壊の問題としてあ
ったのだが、しかしいまやそれのみに問題を至少化することは許され
ない。けだし、それは学生自治、大学自治の存在そのものに関わる
問題へと発展したからである。